

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	法政大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ホウセイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ(SD)
	学部・研究科等名	デザイン工学部
	担当教職員名・役職	小林 尚登・教授、土屋 雅人・教授、西岡 靖之・教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	32
	受入企業等数	27
	受入企業等名	トヨタ自動車 株式会社、ダイニチ工業 株式会社、株式会社 共同工芸社、株式会社 ADK、株式会社 電通クリエイティブX、株式会社 イトーキ、株式会社 BFT、STUDIO BYCOLOR、株式会社 良品計画、株式会社 富士通アドバンスドエンジニアリング、株式会社博報堂 アイ・スタジオ、株式会社マルアイ、株式会社 浜野製作所、株式会社 ロフト、株式会社 由紀精密、株式会社 パナソニック、株式会社 そごう・西部、株式会社 千葉銀行、東京商工会議所、株式会社 アイズ・ソフトウェア、和太鼓グループ彩、株式会社 サニーサイドアップ、とかち村上牧場、彩栄ペイント、株式会社 トップフォームズ、エム・ビー・イー インターナショナル 株式会社、西洋フード・コンパスグループ 株式会社
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企画・デザイン実習・設計解析業務
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	授業期間中に事前説明会を行い、夏季休暇及び冬季休暇中にインターンシップを行う。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ企業の事業内容について確認のうえ、受け入れ先の希望を提出させる。マナーや守秘義務について全員について指導している。インターンシップの必要性を指導している。受け入れ先の企業や業務内容とのマッチングの重要性について指導している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生及び企業からの成果報告書により振り返りを行わせている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後に成果報告書を提出させると共に就業体験のプレゼンテーションを行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間6日間以上(うちインターンシップ実施期間3日間以上)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
要素⑥	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前学習が2日間、インターンシップ実習期間 3日間以上、事後学習が1日間
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの内容は企業の業務内容に即して設定される。受け入れ企業の指導担当者にインターンシップ評価報告書の提出を依頼している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://syllabus.hosei.ac.jp/web/preview.php?no_id=1702846&amp;nendo=2017&amp;gakubu_id=デザイン工学部&amp;gakubueing=AN&amp;radd=289">https://syllabus.hosei.ac.jp/web/preview.php?no_id=1702846&amp;nendo=2017&amp;gakubu_id=デザイン工学部&amp;gakubueing=AN&amp;radd=289</a>
問い合わせ先	大学等名	法政大学
	担当部署名	学務部教学企画課
	担当者役職名	
	担当者氏名	湯山 颯太
	電話番号	03-3264-9076
	メールアドレス	gakumu@hosei.ac.jp